

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり		4	高度情報化への対応		2	情報活用能力の向上				
事業名	小中学校教育系ネットワーク保守事業(コンテンツフィルタ)											
予算費目	款	10	教育費		項	2	小学校費		目	2	教育振興費	
	細目	1	小学校教育振興費		細々目	2	小学校教育振興費(単独)		会計種別	一般		
事務区分(根拠法令)			自治事務				予算種別	継続		経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平成21年4月から民間プロバイダ事業者にフィルタリング適用が義務化された。今のところ市町村に義務化はないが、学校で児童生徒が利用するパソコンに対してフィルタリングをかけることは必要である。		児童生徒を有害情報に触れさせない環境を整備することで危険を事前に回避する。		平成21年度の「学校ICT環境整備事業」の対象であったことから、これを活用して導入した。ただし、コンテンツフィルタ(i-FILTER)の使用料は毎年支払う必要がある。	
活動指標			成果指標		
児童生徒用パソコン設置校数			フィルタ設定校数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
19(校)		19(校)		100%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	機械器具借上料	538,000	537,495	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		538,000	537,495	
合計		538,000	537,495	合計		538,000	537,495
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
市内全小中学校の児童生徒用パソコンについて、有害情報に触れさせないためのソフトであり、十分な効果が得られていると考える。		児童生徒を有害情報に触れさせないため、引き続き実施することが必要である。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり			4	高度情報化への対応			2	情報活用能力の向上		
事業名	中学校教育系ネットワーク整備事業(生徒用)											
予算費目	款	10	教育費		項	3	中学校費		目	2	教育振興費	
	細目	1	中学校教育振興費		細々目	2	中学校教育振興費(単独)		会計種別	一般		
事務区分(根拠法令)			自治事務				予算種別	新規		臨時		

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)			事業の内容(対象・目的・意図)			事業実施の手段・手順		
現在、学校により使用できるPCの数に差があり、調べ学習等の利用に大きな差が出ている。また、中学は小野田地区がWin98と古く新指導要領のアニメーション作成(技術家庭)等に対応できない。			新学習指導要領に対応するとともに、地区間における格差を解消する。			中学校パソコン教室のパソコンについて、常にサポートを受けることができる最新のOSのパソコンを導入する。導入方式は5年リースとする。		
活動指標			成果指標			成果指標の到達度(B/A)		
パソコン教室機器更新校数			授業での使用実績のある学校数			100		
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		%
7(校)		7(校)		7(校)		7(校)		

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	機械器具借上料	3,269,000	3,268,755	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		3,269,000	3,268,755	
合計		3,269,000	3,268,755	合計		3,269,000	3,268,755
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,300,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
今年度、機器の更新を行い、指導要領に対応できるようになった。今後、継続して機器を使用していくための管理及び運用を行う必要がある。		業者による機器のメンテナンスを行う際の報告書のひな形を作成するなど、効率的な運用が行えるように体制整備をしていく。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	13	活気にあふれた往来の盛んなまちの基盤づくり		4	高度情報化への対応		2	情報活用能力の向上				
事業名	小中学校教育系ネットワーク保守事業(ウイルス対策)											
予算費目	款	10	教育費		項	2	小学校費		目	2	教育振興費	
	細目	1	小学校教育振興費		細々目	2	小学校教育振興費(単独)		会計種別	一般		
事務区分(根拠法令)			自治事務				予算種別	継続		経常		

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
H22に校務用PCを整備し私物PCをネットワークから排除した。児童生徒の個人情報は校務用PCからしか使用できないようにしている。		ウイルス感染を未然に防ぎ個人情報流出等を防ぐ。		センターのネットワーク管理用ソフト(SKYSEA)サーバーに導入したウイルスバスタCORP、各サーバーに導入したサーバープロテクトを毎年更新し、校務用PCやネットワークのウイルスチェック対策を行う。	
活動指標			成果指標		
ウイルス対策ソフト設定済み校数			ウイルス感染による情報漏洩回数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
19(校)		19(校)		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
0(回)		0(回)		%	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,197,000	957,600	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		1,197,000	957,600	
合計		1,197,000	957,600	合計		1,197,000	957,600
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	325,000				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
ウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス感染を未然に防止できるようになった。しかしながら、ウイルスの発生報告は後を絶たない。		今までどおり、ウイルス対策ソフトを導入し、ネットワークへのウイルスの侵入を防ぐと共に、利用者へウイルス対策の啓発を行う。特に新規に採用された教職員等には、会議等を通じてウイルス対策の重要性を教育していく。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			